

2014年第3四半期（7月～9月）における海外安全対策情報

1 社会・治安情勢

- (1) 9月12日、豪州政府は、イラク・シリアにおけるISILの動きや外国人戦闘員の問題を受け、国内におけるテロ警戒レベルを「最高位」「高位」「中位」「低位」の4段階中、「中位」から「高位」（上から2番目）に一段階引き上げた。同22日、ISILは、豪州を含む対ISIL連合国において、市民を攻撃するよう支持者を扇動する声明を発出した。豪州政府は、必要な警戒態勢は警察等がとっており、一般市民はこれまでどおりの生活をするよう呼びかけているが、引き続き最新の情報の入手に努め警戒する必要がある。
- (2) ACT（首都特別地域）内における治安情勢については、全般的に安定しているが、議会等の警備が強化されている。
- (3) 一般的に、対日感情は良好であるが、日本の調査捕鯨・イルカ漁に対し、一部の環境・動物愛護団体を中心として、引き続き、強い反対感情がある。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 昨年同時期と比較し、ACT全体の犯罪発生件数は16%減少し、この10年間減少し続けている。
- (2) 特に犯罪種別では暴行、性的暴行及び器物損壊が大幅に減少している。
- (3) 対人犯罪、不法目的侵入、強盗及び車両盗難は昨年に比べ増加している。
- (4) 犯罪全体は減少傾向にあるが、ACT警察の調査によると、半数以上のキャンベラ在住者が住居侵入、クレジットカード詐欺及びオンライン犯罪に脅威を抱いていることが明らかとなった。
- (5) なお、当該犯罪統計によれば、ACTにおける2014年第3四半期の犯罪発生件数は以下のとおり。（ ）内は、前年同時期の発生件数を示す。
- | | |
|-----------|--------------|
| ・殺人、殺人未遂： | 0件（0件） |
| ・暴行： | 420件（512件） |
| ・性的暴行： | 54件（133件） |
| ・対人犯罪： | 27件（17件） |
| ・不法目的侵入： | 539件（502件） |
| ・強盗： | 38件（34件） |
| ・窃盗： | 2085件（2201件） |
| ・車両盗難： | 179件（160件） |
| ・器物損壊： | 966件（1162件） |
- (6) 邦人被害の事件は認知していない。

3 テロ・爆弾事件発生状況

- (1) 9月18日警察は、シドニー及びブリスベン郊外でテロリストの一斉摘発を行い、テロ攻撃を準備していたとされる容疑者の身柄を拘束した。
- (2) 9月23日、メルボルン郊外の警察署前において、18歳の少年がナイフで警察官を襲い、重傷を負わせた。なお、その場で同少年は射殺された。

4 誘拐・脅迫事件発生情報
邦人被害の事件は認知していない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題
特に認知していない。